

第64回男子・第37回女子
全日本学生ホッケー選手権大会

第3日目

開催日時 11月1日(日) 会場 立命館ホリーズスタジアム・親里ホッケー場 天候 晴れ

【各試合の結果・詳細】

9:30～

立命館ホリーズスタジアム第1試合

早稲田大学 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 1 \\ 0 & - & 3 \end{pmatrix}$ 4 立命館大学

0	PC	12
0	シュート数	31

得点	早稲田→		
	立命館→33分笠丸、43分山下、55分堀井、69分堀井		
戦評	早稲田大学のセンターからのスクープによって試合が開始された。試合序盤から立命館が試合を優位に進め、PCを立て続けに獲得するも早稲田GK#18南の好セーブにより得点にはならない。早稲田はカウンターから攻めのリズムを築くも立命館の堅い守りの前にサークルインできない。33分、立命館がキーパーのリバウンドを#11笠丸が押し込み、1-0と先制し、前半を終了する。後半も立命館の勢いは止まらない。42分にPCを獲得。#2山下のヒットシュートが決まり2-0とリードを広げる。さらに55分に、打ち込みに反応した#10上館がリバウンドを押し込み、早稲田に付け入る隙を与えない。終了間際、69分にも再び#10上館が押し込み、立命館が4-0で勝利。ベスト4へと駒を進めた。		
テクニカルオフィサー	長田和雄	アンパイア	藤原真由美
ジャッジ	山下理菜・塩井拓真		堀江紀之

11:00～

立命館ホリーズスタジアム第2試合

山梨学院大学 11 $\begin{pmatrix} 6 & - & 0 \\ 5 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 同志社大学

18	PC	0
44	シュート数	0

得点	山梨学院→6分藤井、13分狩野、20分狩野、27分佐藤、34分河村、35分今尾、36分狩野、63分西永、64分西永、67分西永、69分河村		
	同志社→		
戦評	山梨学院大学のセンターパスで試合が開始された。開始早々から山梨学院が攻め続け、PCを獲得し、#20藤井のフリックシュートで先制する。その後もプレスから攻めの流れを作り直し、山梨学院の攻めが続く。同志社は何とか敵陣へボールを運びたいが、山梨学院の守りによって自陣を抜け出せない。山梨学院はPCを次々と獲得するなど攻撃の手を緩めず、#18狩野、#5佐藤、#12河村、#25今尾が続々とゴールを決めていき、大量6点のリードで前半を終了した。前半の勢いもそのままに、山梨学院大学はプレスから重厚な攻めを展開し、同志社ゴールへと迫っていく。36分には#18狩野がこの試合3点目となるゴールを決め、1点を追加する。その後、同志社の懸命な守備で山梨学院は得点を奪えずにいたが、63分、64分、67分と立て続けに#8西永が3点を奪う猛攻を見せ、終了間際にも#12河村のシュートにより11-0と突き放す。結果、山梨学院大学が準決勝進出を決めた。		
テクニカルオフィサー	一谷徹	アンパイア	藤村利道
ジャッジ	松宮弘・板橋秋穂		Sunny Wang

12:30～

立命館ホリーズスタジアム第3試合

立命館大学 3 $\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 駿河台大学

9	PC	0
20	シュート数	2

得点	立命館→18分落合、35分林、44分木下		
	駿河台→		
戦評	<p>駿河台のセンターパスにより試合が開始された。大会3連覇中の王者、立命館は開始直後から細かいパス回しと鋭いドリブルでチャンスを作り出し、駿河台ゴールへと迫る。両チームの素早い攻防の切り替えが行われる中で、立命館がPCを獲得。#11落合のフリックシュートが突き刺さり先制点をあげる。さらに前半終了間際#7林のタッチシュートで2-0とし、試合を折り返す。</p> <p>後半も立命館がセカンドボールを悉く広い攻め続け、44分にPCを獲得する。#24木下のヒットシュートが決まり3-0となる。駿河台としては苦しい時間が続かなか、チャンスが訪れるもののGK#2前田の好セーブに阻まれ得点とはならない。そのまま試合が終了し、3-0で立命館大学の勝利となった。</p>		
テクニカルオフィサー	長田和雄	アンパイア	戸塚洋介
ジャッジ	島田若奈・塩井拓真		石橋徹也

14:00～

立命館ホリーズスタジアム第4試合

山梨学院大学 6 $\begin{pmatrix} 1 & - & 1 \\ 5 & - & 0 \end{pmatrix}$ 1 朝日大学

6	PC	5
15	シュート数	11

得点	山梨学院→1分小川、39分蛭田、47分穴井、48分石川、54分小川、56分山崎		
	朝日→7分福山		
戦評	<p>朝日大学のセンタースクープにより試合が開始された。開始わずか1分で山梨学院#29小川が押し込み先制。幸先良いスタートを切った山梨学院が主導権を握るかと思われたが、7分に朝日がPCを獲得し、#2福山のプッシュシュートですぐさま同点に追いつく。15分に山梨学院にイエローカードが与えられ、10分間1人少ない状況で朝日の猛攻を受けるが、それを感じさせない山梨学院の全員ディフェンスで流れを引き戻す。両チームこのまま得点が奪えず、前半を終了する。</p> <p>後半も両チームスクープを起点とし、攻撃のリズムを作っていく。39分に山梨学院がPCを獲得。#10蛭田のフリックシュートで2-1と再び勝ち越す。朝日の運動量が低下している隙をついて山梨学院が、さらに47分、48分、54分、55分と得点を積み重ね6-1と大きくリードを広げる。朝日も最後まで攻めの手は緩めなかったが、山梨学院がそのまま押し切り6-1と快勝した。</p>		
テクニカルオフィサー	一谷徹	アンパイア	近藤聡史
ジャッジ	板橋秋穂・山下理菜		野澤達

ホッケー日本リーグ機構

9:30~

親里第1グラウンド第1試合

中京大学 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 3 \\ 0 & - & 3 \end{pmatrix}$ 6 天理大学

0	PC	7
1	シュート数	24

得点	中京→		
	天理→7分森、13分黒原、27分森、37分森、46分江村、67分吉川		
戦評	<p>中京大学のセンターパスにより、前半戦が開始。立ち上がりから中京陣内で試合が行われ、7分#29森のプッシュシュートで天理大学が先制。その後17分天理大学がPCを獲得し、#17黒原がリバウンドをプッシュシュートで押し込む。中京大学もカウンターでサークル付近までパスをつながり得点には結びつかない。27分天理大学がPC獲得し、#29森がタッチシュートで決める。3-0の天理大学リードで前半は終了する。後半が開始、37分#29森がヒットシュートを決める。さらに45分天理大学の華麗なパス回しから#7江村リバースシュートを決める。中京大学もサークル内でシュートを放つが、天理大学の好守により得点には結びつかない。67分天理大学がPCを獲得し#6吉川がフリックシュートを決める。このまま試合が終了し、6-0で天理大学が勝利した。</p>		
テクニカルオフィサー	苅谷和代	アンパイア	我妻順子
ジャッジ	西山英雄・中坪真希		林賢男

11:00~

親里第1グラウンド第2試合

東海学院大学 4 $\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 2 & - & 1 \end{pmatrix}$ 1 駿河台大学

2	PC	1
16	シュート数	5

得点	東海学院→33分清水、35分鳥山、38分田村、69分堀山		
	駿河台→65分尾関		
戦評	<p>駿河台のセンターパスにより、前半戦が開始された。序盤から互いに激しい攻め合いとなるが、徐々に東海学院がペースを掴む。13分、#9清水のリバースシュートは惜しくもバーに当たり得点とはならず。28分、PCを獲得するがヒットシュートは惜しくも枠を外れる。34分、#14八木のパスから#9清水がリバースシュートを決め東海学院が先制。35分、#21鳥山のヒットシュートにより追加点を上げて、前半を2-0、東海学院のリードで折り返す。後半戦が開始。38分、東海学院がゴール前の混戦から最後は#15田村が押し込み3-0。駿河台も54分、PCを獲得するが#5宇田のフリックシュートはGK#1井戸田のファインセーブにより得点とはならず。65分、駿河台はカウンターから#10尾関がキーパーを交わしヒットシュートを決め3-1。69分、東海学院はまたもゴール前の混戦から#21鳥山が押し込み4-1。このまま試合は終了。東海学院が勝利した。</p>		
テクニカルオフィサー	中野典子	アンパイア	押田幸二
ジャッジ	上城智佳子・奥田好廣		細川祐司

12:30~

親里第1グラウンド第3試合

法政大学 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 2 \\ 0 & - & 6 \end{pmatrix}$ 8 天理大学

0	PC	6
3	シュート数	20

得点	法政→		
	天理→2分和久利、34分山田、38分山田、48分山田、50分落合、52分山田、53分山田、70分福田		
戦評	<p>天理大学のセンターパスで試合開始。2分、天理大学#12和久利のヒットシュートにより先制点が決まる。その後も天理大学は正確なパスワークでサークルインまでするが、法政大学の堅い守りにより得点には結びつかない。一方、法政大学もカウンターから華麗なドリブルやパスワークで前線までつなげるが、天理大学の素早い戻りにより得点には結びつかない。34分、天理大学#4山田のフリックシュートにより得点が決まる。前半は天理大学が2-0でリードする。</p> <p>後半戦が開始。38分天理大学はPCを獲得し、#4山田のフリックシュートにより得点が決まる。48分、天理大学#4山田はPCでこの試合ハットトリックとなるフリックシュートを決める。50分、天理大学#5津田からのパスを#6落合がリバースプッシュで押し込み、得点が決まる。52分、天理大学は#4山田のPCでのフリックシュートにより得点が決める。53分、天理大学は再びPCを獲得し、#4山田のフリックシュートにより得点が決まる。70分、天理大学#17福田のヒットシュートにより得点が決まる。このまま試合が終了。7-0で天理大学が勝利した。</p>		
テクニカルオフィサー	荻谷和代	アンパイア	渡邊道彦
ジャッジ	西上英雄・中坪真希		成田健一

14:00~

親里第1グラウンド第4試合

明治大学 3 $\begin{pmatrix} 2 & - & 1 \\ 1 & - & 1 \end{pmatrix}$ 2 早稲田大学

2	PC	3
5	シュート数	6

得点	明治→10分佐々木、23分谷光、61分谷光		
	早稲田→28分宮口、36分川原		
戦評	<p>早稲田大学のセンターパスにより試合が開始。8分、早稲田がPCを獲得するが、得点には結びつかない。9分、明治が#7佐々木のアシストにより#9川村がシュートを決める。23分、明治大学が再びPCにより#10谷光がフリックで決め2-0とする。28分、早稲田大学#5宮口がリバースで決め点差を1点に縮める。均衡した状況が続くが2-1で明治リードで前半を折り返す。</p> <p>後半開始早々、早稲田#7川原のリバースシュートが決まり同点とする。その後、早稲田が押しはじめ何度もサークルインするもゴールには結びつかない。そんな中61分、明治がPCを獲得し#10谷光がフリックを決める。66分、早稲田がフリーでスイープシュートを放つがゴールとはならない。さらに68分早稲田がPCを獲得。しかし明治#1國友のナイスセーブにより得点は許さない。このまま試合は終了。3-2で明治が勝利した。</p>		
テクニカルオフィサー	中野典子	アンパイア	木下英貴
ジャッジ	田村一・上城智佳子		西山宏明